

ロータリー
変化をもたらす

帯広西ロータリークラブ 第2220回例会 2018.3.29 会報



■RI第2500地区テーマ■

今こそ行動を！
ークラブが元気になるために
地区が元気であるために
そして 私たちの未来のためにー



■クラブ・テーマ■

積極的に奉仕し、成長しよう

会長報告

石原 英樹 会長



皆さんこんばんは。3月、年度末の月末という事で皆さんお忙しいのと、先日のIMでのメイキャップもあり、本日は若干少なめなのかなと思います。2週間ぶりに点鐘を叩かせて頂きましたが、2週間叩いていないと弱めになってしまいました。

IMが24日に行われまして、多くの皆様に出席頂きましてありがとうございました。佐藤ガバナー補佐のもと帯広北RC、芽室RCのホストにより成功裏に終わったと思っています。式典の中で成瀬ガバナーより新会員へのバナーの贈呈が感動しました。昨年の地区協議会の時に成瀬ガバナーがおっしゃっていましたが、50人以上のクラブは純増2名、そして女性会員2名、40歳未満2名を増強して欲しいとのことでした。リアンライズリーRI会長よりのメールによると40歳未満の会員は5%に過ぎない事をご存知でしょうか。これは由々しき数字でRC全体で取り組むべき課題であると言っています。我がクラブ、40歳未満の会員が73名中2名、2.8%と5%の半分ですね。西RCの平均年齢は59.4歳だそうです。RCは高齢の男性の会というイメージがあるのかなと思います。西RCも他のクラブもそういう傾向にあると思います。各クラブとも世代構成課題を大局的な視点から理解し、新しい仲間、若者、女性の入会を促進するよう取組んで行かなければと思います。

今は皆さん家庭集会を行なっている時期だと思

います。テーマは「西RCの未来について語り合おう」という事でやっています。会員増強、若手・女性の入会促進、次々年度に迫っているガバナー補佐、数年後にはガバナーという話も出てきます。昔のガバナーの話で盛り上がるのも良いですが、先のガバナーの話でもっと盛り上がって頂ければと思います。

会務報告

萱場 誠一 幹事



①帯広北RC、3月30日（金）の例会は、休会と致します。

②帯広西RC、移動例会開催のご案内

日時 4月12日（木）

午後0時15分集合（例会：0時30分）

場所 よつ葉乳業(株)十勝主管工場

※駐車場に限りがございますので、なるべく乗り合いでお願い致します。

③帯広南RC、創立記念夜間例会開催のご案内

日時 4月23日（月）午後6時30分

場所 北海道ホテル

④帯広西RC、夜間例会開催のご案内

日時 4月26日（木）午後6時30分

場所 北海道ホテル

⑤帯広北・帯広東・音更RC、合同夜間例会開催のご案内

日時 4月27日（金）午後6時30分

場所 ホテル日航ノースランド帯広

※尚、帯広東RCは、4月24日（火）の繰り下



会長 石原 英樹
幹事 萱場 誠一

副会長 佐々木嘉晃
副会長 小谷 典之

会場監督理事 立崎 貴之
プログラム委員理事 北川 勝啓

発行：広報委員会
委員長 柳沢 一元（副）河西 智子



例会日/木曜日 12時30分～13時30分
創立/1972年2月24日

例会場/北海道ホテル 帯広市西7条南19丁目1 (TEL 21-0001)
事務局/帯広経済センタービル4階 TEL 25-7347 (直通) FAX 28-6033

げ例会と致します。

⑥帯広南RC、4月30日（月）の例会は、祝日振替のため休会と致します。

ニコニコ献金

親睦活動委員会 近藤 真治 会員

石原 英樹 会長

長崎ゴルフツアー、初日準優勝しました。萱場幹事が優勝し1、2フィニッシュでした。

萱場 誠一 幹事

長崎ゴルフ同好会コンペにて1日目優勝しました。



古田 敦則 会員

長崎遠征で初日真ん中賞、2日目優勝しました。盆と正月と一緒に来た感じですが、スコアは聞かないで下さい。

森 房明 会員

先日の長崎遠征で、2年間の幹事を無事終了しました。これで晴れて初優勝を目指します。

ニコニコ
献金

3月29日

9,000円

累計

792,531円 (3月29日現在)

プログラム

健康増進委員会

「アメリカでの依存症治療施設とメンタルケアの現場」

永松 昭子 委員長

本日は依存症について知って頂きたいと思い、この時間を使わせて頂きます。

依存症になると、お酒・薬物・ギャンブルなどの行動がコントロール出来なくなり、止めたいのに止められず他の何よりも優先してしまいます。病気の1つですので正しい診断、治療が必要です。依存症の発症には脳内の神経伝達物質が関わっていてそれが原因で自分の行動を上手くコントロール出来なくなってしまう病気なのです。止めたいのに止められない、これが依存症のサインです。否認の病気とも言われ自ら問題を認めないため、家族のサポートが不可欠です。

自助グループとは同じ悩みを持った人達が体験談を通して回復へとつなげて行く物です。家族が依存症かと思ったら近くの保健所、または保健衛生センターにご相談下さい。

私は現在ダルクというところの理事をしております。ダルクとは薬物依存症からの回復を支援する施設です。6年前に十勝にも開設され、薬物・アルコール依存症の方も入所されています。

私は2回ほどアメリカで依存症やメンタルケアの研修をして来ました。この機会に行った所の紹介をさせていただきます。

ベティフォードセンターは広大な敷地に整った環境で、ラス分けされており医療を施さない、きちんとした食事、適切な運動、十分ながとれる生活を取り戻す事を目指しています。子供のケアでも有名です。

パシフィックコーストメディカルセンターは、保険会社が運営している病院です。メディケーションルームという瞑想する部屋があります。アートセラピーも行っております。

クレアファンデーションは庶民的で英語、スペイン語、手話に対応できるスタッフが居ます。

アニマルアシステッドセラピープログラムは、犬・猫・ポニー・ヤギが飼われています。

